

# I 栄える「都」をつくる 2 地域雇用戦略

## (11) 外国人労働者の県内での円滑な受入れ

### これまででは

有効求人倍率の高い奈良県では外国人労働者が多くおられます。(6,011人)しかし、その受入体制は不十分な状態です。

○県内外国人労働者の産業別、国籍別労働者数

(産業別)							
製造業	卸売業、小売業	建設業	医療、福祉	宿泊業、飲食サービス業	教育、学習支援業	その他	
2,522	613	612	446	340	257	1,221	
(国籍別)							
ベトナム	中国(香港を含む)	フィリピン	インドネシア	ブラジル	ネパール	韓国	その他
2,436	1,260	559	210	202	136	127	1,081

厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ(令和2年10月末)

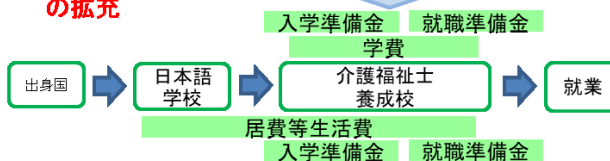
県内の労働力不足緩和には、外国人労働者の就業の円滑化、生活環境の改善が急務です。

- 介護福祉士修学資金について、令和2年度に新たに外国人留学生39名に対する貸付を行いました。
- 外国人留学生修学支援資金について、令和2年度に新たに3法人に対する貸付を行いました。
- 令和元年度から、外国人総合相談窓口を設置しました。
- 多文化共生・国際化の講座や研修会等を、令和2年度に11回実施しました。(令和2年度中、計12回実施予定)

### もっと良くするために

外国人労働者が県内で円滑に就労し、良好な生活環境で定着することで、将来的には母国の発展にもつながる仕組みづくりに取り組みます。

- 留学生等の県内就業円滑化を支援(7百万円)
  - ・県内企業の合同企業説明会の開催
  - ・(新)専門相談員の配置
- 多文化共生・国際化の講座や研修会等を継続して実施することにより多文化理解を促進(1百万円)
- 奈良県で不足している介護職員の定着を支援(105百万円、R2-2月補正 204百万円)
  - ・介護福祉士修学資金貸付制度の貸付要件・募集枠の拡充



・居住費等生活費などの貸付

いずれも県内福祉施設で5年間就労すれば、貸付金返還免除

令和3年度予算案 113百万円  
令和2年度2月補正予算案 204百万円

R3予算案 112,525千円、R2・2月補正予算案 204,390千円

### ① 留学生等の県内就職支援(6,566千円)

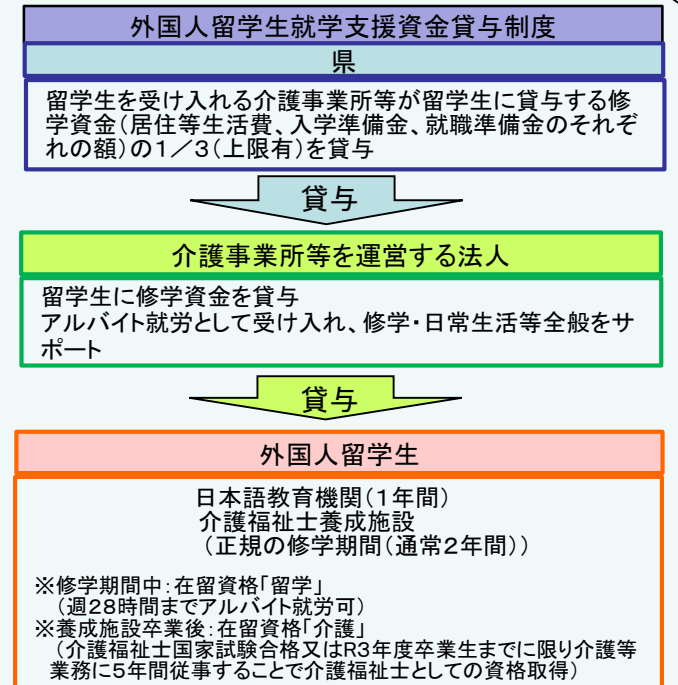
- ・県内大学の留学生等を対象とした**奈良県企業の合同企業説明会の開催**
- ・専門相談員を外国人・人材活用推進室に配置

### ② 多文化共生・国際化の推進(855千円)

- ・高校生を対象とした**国際交流・国際理解を深める講座の開催**
- ・行政職員等を対象とした**在住外国人対応に関する研修会等の開催**

### ③ 外国人介護福祉士受入支援、介護分野への多様な人材の参入促進 (105,104千円、R2・2月補正予算案 204,390千円)

- ・外国人介護福祉士候補者を受け入れた介護施設が実施する**日本語学習及び介護分野の専門学習の支援**
- ・主に外国人介護職員を初めて受け入れる事業所を対象に、**制度概要や受入体制づくり等についてのセミナーの開催**
- ・外国人介護人材受入施設が行う環境整備に対する補助
- ・介護福祉士の資格取得を目指す**外国人留学生の修学を支援する法人に対し費用の一部を支援**
- ・介護福祉士の資格取得を目指す学生が**養成施設等における修学に必要な費用を貸し付けるための資金を造成**



### <問い合わせ先>

- ①産業・観光・雇用振興部 外国人・人材活用推進室 松本主幹(内線3572)
- ②知事公室 国際課 杉村課長補佐(内線2151)
- ③福祉医療部 長寿・福祉人材確保対策課 内田課長補佐(内線3211)

## Ⅱ 賑わう「都」をつくる

～奈良が有する自然・歴史・文化資源を活用し、  
観光産業を振興する～

## Ⅱ 賑わう「都」をつくる 3 滞在型観光の定着

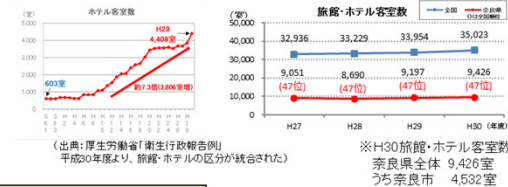
### (12) ホテル誘致

#### これまでは

観光地にはホテルが不可欠であり、近年増加はしているものの、奈良県の旅館・ホテル客室数は全国で最下位です。

ハイエンド観光客に対応した高級ホテルもなく、観光地のブランド力がいま一歩でした。

加えて、客室数の約5割が奈良市に集中しており、奈良県を周遊したい客層を取り逃す結果となっていました。



#### 近年の県の誘致例

- 平成27年9月 OPEN  
オーベルジュ・ぶれざんす 桜井
- 令和2年6月 OPEN  
ふふ奈良
- 令和2年7月 OPEN  
JW Marriott ホテル奈良



#### もっと良くするために

観光地競争に打ち勝つには、ホテル客室数をもっと増やすこと、ホテルのバラエティを持つこと、上質なホテルも用意することが必要です。

#### <ホテル誘致の視点>

- 滞在型観光を促進するため客室数を増加
- 多様なニーズに応えるバラエティ
- 観光地奈良のブランド力を上げる上質ホテル

これらの視点に沿って県内の観光地へのホテル誘致を進めます。

- (新)ホテル誘致に向けた新たな支援制度の創設  
・県内全域を対象とした補助制度を創設し、宿泊施設の立地を促進することにより、滞在型観光を一層推進  
[債務負担行為 300百万円]

- JETRO奈良事務所と連携し、ハイレベルのスポーツ合宿、セミナー・イベント等に対応可能なホテルの誘致活動を効果的に実施 (1百万円)

令和3年度予算案 1百万円 [債務負担行為 300百万円]

R3予算案 1,000千円 [債務負担行為 300,000千円]

#### ホテルの誘致推進

##### ① 新 宿泊施設立地促進事業補助金の創設 (R4~8債務負担行為 300,000千円)

上質なホテルを誘致し、滞在型観光をより一層推進

- ・補助要件: 客室数30室以上または収容人員100人以上  
投資額5億円以上(南部地域・東部地域は3億円以上)
- ・補助率: 投資額の5%
- ・補助上限: 2億円(客室数100室以上、かつ、客室平均面積20㎡以上の場合)  
1億円(客室数30室以上、または収容人員100人以上の場合)

##### ② JETRO奈良事務所と連携し、ハイレベルのスポーツ合宿、セミナー・イベント等に対応可能なホテルの誘致活動を効果的に実施 (1,000千円)

- ・国内外のホテル事業者関係者の奈良への招聘  
→ 用地・建物視察、ホテル事業者等との面談 など
- ・国内での誘致活動  
→ 国内外のホテル事業者関係者への個別訪問 など



令和2年7月 オープン  
JW Marriott ホテル奈良

#### <問い合わせ先>

産業・観光・雇用振興部 企業立地推進課 吉田課長補佐(内線3585)

## II 賑わう「都」をつくる 3 滞在型観光の定着

### (13) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興

#### これまでは

これまで奈良になかった大型コンベンション施設と国際ブランドホテルを核とした複合型観光施設が誕生しました。奈良県観光の飛躍のために、その活用が必要です。

- 令和2年4月1日に奈良県コンベンションセンターが、7月22日にJW Marriott・ホテル奈良が開業しました。



奈良県コンベンションセンター

JW Marriott・ホテル奈良

#### もっと良くするために

大規模国際会議などの誘致を推進します。

- ・大規模国際会議開催のため、トップセールスを継続するとともに、県、奈良県デジタルビューローによる誘致活動を展開 (29百万円)
- ・新型コロナウイルス感染防止に配慮した大会議室の利用、最新設備によるハイブリッド会議など「新しい生活様式」に即したMICE開催を提案し、センターの利活用を推進 (116百万円)

天平広場や屋内施設を利用した新しい賑わいを創出します。

- ・感染症対策を徹底しつつ、天平広場などを活かしたイベントを定期的に開催 (19百万円)

天平広場を活用したイベント

MICE誘致を活用して県内各地への訪問客を増加させます。

- ・ユニークベニュー(寺社等での会議・レセプション開催)を開発
- ・交流拠点全体のタウンマネジメント協議会を定期開催

令和3年度予算案 164百万円

R3予算案 163,953千円

#### 1. コンベンション施設の運営(SPC) (115,758千円)

- ・国際会議や医学学会等MICEの誘致推進
- ・賑わいの創出
- ・タウンマネジメント協議会の運営
- ・施設運営

#### 2. 賑わいの創出、MICEの誘致推進(県) (48,195千円)

- ・賑わい創出イベントの開催
  - ・天平広場における奈良の食材を使った飲食の提供
  - ・天平ホールにおけるNHK奈良放送局と連携したステージイベント
  - ・JW Marriott・ホテル奈良などと連携した幅広いイベントの開催 など
- ・MICE“誘致力”の向上
  - ・ビジターズビューローと連携した大学、学会の誘致
  - ・会議、研修旅行、展示会の誘致に向けたファムトリップの実施
  - ・奈良を代表する社寺と連携したユニークベニューの開催
- ・大規模MICEの誘致推進
  - ・世界最大級のMICE見本市への出展によるPR
  - ・大臣級会合などの大規模国際会議の誘致
- ・コンベンション開催誘致の強化
  - ・**新大規模コンベンションの開催助成**  
 上限150万円(国際会議:登録人数 500~749名→50万円、750~999名→100万円、1,000名以上→150万円)  
 上限75万円(国内会議:登録人数 500~749名→25万円、750~999名→50万円、1,000名以上→75万円)
  - ・国内コンベンション(中・小規模)の開催助成  
 上限10万円(登録人数 200~499名)
  - ・アフターコンベンションの開催助成  
 上限20万円(アトラクション、エクスカーショ及び体験プログラム)
- ・UNWTOガストロノミー・ツーリズム世界フォーラムの誘致

※「II-5-(34)食の振興」に記載



天平広場(屋根付き屋外イベントスペース)



コンベンションホール



奈良県コンベンションセンター外観

<問い合わせ先>

観光局 MICE推進室 田中室長補佐(内線2153)

## Ⅱ 賑わう「都」をつくる 3 滞在型観光の定着 (14) 奈良公園周辺地区のホテル整備

### これまでの

奈良公園は歴史文化と自然が一体となった世界に誇ることのできる場所です。周囲の風情に調和した宿泊施設の整備が進んでいきます。

○整備されてきた場所はかつて富豪が別荘地にしていた場所などですが、今多くの人々が利用できる施設に変わってきています。

#### 高畑町周辺地区

- ・令和2年5月に県が瑜伽山園地を開園
- ・同6月に民間事業者が宿泊施設・飲食施設をオープン

○法務省、奈良市との包括協定に基づき、旧奈良監獄アクセス道路整備事業を支援するなど、旧奈良監獄の歴史文化的価値を保存・活用するための事業に協力しています。



瑜伽山園地の宿泊施設の整備



旧奈良監獄 (法務省より提供)

### もっと良くするために

#### ・吉城園周辺地区の整備

・県は、吉城園周辺の土塀の修景、遊歩道整備等を行い、**名勝の価値を高めます。(102百万円)** [債務負担行為120百万円]



#### ・旧奈良監獄ホテルの整備

・令和6年中にホテル運営開始予定。  
県はホテル整備のための支援を継続します。

○奈良市による**アクセス道路整備**へ支援 (3百万円)

○旧奈良監獄保存活用株式会社 (SPC) の**耐震改修**へ支援 (42百万円)



旧奈良監獄ホテルのイメージ (法務省より提供)

○奈良市と連携した**沿道整備**(2百万円)

#### ・その他のホテルの整備

・2025年の大阪・関西万博の開催を好機と捉え、奈良公園に相応しい風情ある上質な宿泊施設の誘致に努めます。

令和3年度予算案 149百万円 [債務負担行為 120百万円]

R3予算案 149,359千円 [債務負担行為 120,000千円]

### 吉城園周辺地区

事業内容	事業者	森トラスト株式会社 ○宿泊施設整備 ○交流施設(レセプション・レストラン)整備
	県	○土塀修景整備 ○耐震改修 ○遊歩道整備等  (102,500千円、R4債務負担行為 120,000千円)

### 旧奈良監獄

- 1 奈良市による**アクセス道路整備**への支援 (2,771千円)
- 2 SPCによる**耐震改修**事業への支援 (41,588千円)
- 3 奈良市と連携しゲートウェイとなる**沿道を整備** (2,500千円)
- 4 **ホテル整備**に対する支援 (R4に予算計上を予定)  
国の「総合特区支援利子補給金制度」に**上乗せして利子補給**を実施

所在地	奈良市般若寺町18
運営事業者	法務省 旧奈良監獄保存活用株式会社
ホテルの概要	・史料館 ・監獄ホテル ・レストラン ・浴場、スパ等

#### 整備イメージ

交流エリア (宿泊者以外も利用可)  
交流施設の入出口  
宿泊エリア (一部宿泊者のみ利用)  
宿泊施設の入出口  
一般利用者の動線

#### 宿泊施設の整備イメージ



旧奈良監獄ホテルのイメージ (法務省より提供)

#### <問い合わせ先>

地域デザイン推進局 奈良公園室 丸山室長補佐(内線4334)

産業・観光・雇用振興部 企業立地推進課 吉田課長補佐(内線3585) (ホテル整備に対する支援に関する事)